

- 専如門主、和歌山ご巡回□1
- 阿弥陀さまと私□2
- 新・祖蹟点描□3
- 青色青光□4
- ご巡回・ご巡拝特集□6
- キッズサンガ写真特集□8
- 響流十方□10
- つれもて聴こら□12



「紀伊国名所図会」に描かれた江戸時代後期の鷺森御坊

2016年(平成28年)
4月15日
第108号

発行：「御同朋の社会をめざす運動」和歌山教区委員会 〒640-8053 和歌山市鷺森1番地 本願寺鷺森別院内 TEL(073)422-4677 URL <http://saginomori.or.jp/>

紀州門信徒との ご縁を深め

浄土真宗本願寺派
第25代

専如門主 紀の国へ

うけつぐ伝灯 伝えるよろこび

このたび、浄土真宗本願寺派（西本願寺）では専如（大谷光淳）門主へと代替わりしました。このことを多くの人に知っていただくとともに、親鸞聖人が顕かにした南無阿弥陀仏のご縁に遇っていただこうと全国を回り集いを開催しています。ぜひ多くの方々のご参拝をお待ちしております。



4月27日(水) 鷺森別院

14:30 記念式典
15:50 記念行事

鷺森幼稚園園児の歌
真宗落語 笑福亭仁智さん

28日(木) 日高別院

10:00 記念式典
11:10 記念行事

御坊幼稚園園児・卒園者・
保護者によるミニコンサート(歌)

鷺森別院本堂再建 20周年記念法要勤修 5月15日(日) 鷺森別院

11:00 帰敬式
13:30 記念法要
布教使 藤井邦麿師

5月13日から16日の間は恒例の二尊会法要が勤修されます。どなたさまも、ぜひご参拝ください。



阿弥陀さま

ハウツー仏事と私



⑩ 聖典
 「聖典」「念珠」「式章」は、お寺の法要・法座や各種研修会などに参加されるときに浄土真宗の門徒として必ず持参すべき持ち物の3点セットと言えます。

今号はそのうちの聖典について述べます。

浄土真宗における聖典とは、お釈迦さまによって説かれた「八万四千」ともいわれるお経さまのなかで、

扱いは敬いの気持ちで

親鸞聖人が「真実の教」とおっしゃった仏説無量寿経をはじめとする浄土三部経（無量寿経、観無量寿経、阿弥陀経）を筆頭に、七高僧のご著作、親鸞聖人のご著作、歴代宗主のご著作などを指します。

これらは1988年(昭和63)に初版が発行された『浄土真宗聖典・註釈版』（本願寺出版社）に網羅されていますが、その序の冒頭に、当時のご門主(即如門主、現前門さま)が、次



本尊の手に立てられた浄土三部経の巻物(鷺森別院本堂)

人生の羅針盤となる「真実のごとば」

のように聖典の本義を明確にお示し下さっています。

「生に迷い、死をおそれつつ生きる私どもを導いて、その生に意義あらしめ、死に光あらしめるものは、真実に目覚めたもうた仏祖のみことばであります」――。

私たちの世界には言葉があふれています。しかし生に迷い、死をおそれつつ生きる者の言葉では、人生の指針にはなりません。生死に迷う私たちにとって一条の光となり、人生の羅針盤

となるのは、真実の言葉以外にありません。

『浄土真宗聖典・註釈版』をまだお持ちでない方は、まずは一冊求められ、

ラジオ放送番組
みほとけとともに
 - 西本願寺の時間 -

◆毎週土曜日 午前5時50分から
 - 和歌山放送 (WBS) -

和歌山・串本	1431kHz
田辺・すさみ	1233kHz
橋本・高野山	1485kHz
新宮・御坊	1557kHz

少しでもそのお言葉に触れていただきたいと思います。

お勤めをする際にも、聖典は欠かせません。皆さまは「聖典一勤行集」や『日常勤行聖典』（いずれも本願寺出版社）などに親しんで下さっていると思いますが、粗末な扱いにならないように次の3点に注意してください。

聖典を扱う際の注意点

①聖典を畳や床にじかに置かない。机に置くか、机がなければ膝の上に。やむを得ず畳や床に置くときは、

②お勤めの前後には、本を閉じた状態で必ず両手で押し頂く。その際、聖典の下辺が目あたりに来るところまで持ち上げる。

③お勤めの際は胸の前で両手で保持する。手は指をそろえて伸ばし、ハの字形になるように。手の形は聖典を押し頂くときも同様。

浄土真宗における根本のお経さま浄土三部経ですが、決してそれ以外のお経さまを軽んじるわけではありません。

お経の全集を「一切経」とか「大蔵経」といいますが、あまり知られていませんが、西本願寺にはこれを納めた経蔵があるのです。阿弥陀堂に向かって右斜め手前、重層屋根の「転輪蔵」と書かれた扁額が掲げられている物がそれです。参拝されたときには一度ご覧下さい。(松本教智・御同朋の社会をめぐす運動「和歌山教区前委員長」)

新 祖蹟点描

10 比叡山 大乘院

親鸞聖人の比叡山での習学のご様子を伺うことのできる資料として『本願寺聖人親鸞伝絵』の次に挙げられるのは、同じく本願寺第3代覚如上人が著された『報恩講私記』である。

『報恩講私記』とは、覚如上人が1294年(永仁2)に曾祖父である親鸞聖人の33回忌法要を勤める際、その次第と表白を定めたものだが、この表白の部分に親鸞聖人の生涯と功績が詳しく述べられている。その一節に次のようにある。「台嶺の窓に入りたまひ

しよりのこのかた、慈鎮和尚をもつて師範として、顕密両宗の教法を習学す。蘿洞の霞のうちに三諦一諦の妙理を窺ひ、草庵の月の前に瑜伽瑜祇の観念を凝らす。とこしなへに明師に逢ひて大小の奥蔵を伝へ、広く諸宗を試みて甚深の義理を究む」(『註釈版聖典』1066~1067頁)

仏教用語が多い難解な文

章なので、あらましを現代語訳した上で、特に難しい語句には解説を加える。

——(親鸞聖人は)比叡山に入られて以来、慈鎮和尚(慈円)を師範として顕教と密教の両方を習学された。つたかずらの繁った洞穴で「三諦一諦」という深妙不可思議な理法をつかもうとされ、月明かりに照らされた草庵では「瑜伽瑜

は天台教学を、密教とはある境地でのみ感得しうる深遠な教えの意で、天台密教(台密)を指す。

「三諦一諦」と「瑜伽瑜祇」とは、それぞれ顕教と密教の教えの具体例である。三諦一諦とは、すべての存在には実体がないと見る空諦、実体はなくとも縁によって仮に存在していると認める仮諦、その上で、す

「顕密両宗の教法」学ぶ



「親鸞聖人御修行旧跡」の石碑が立つ無動寺谷大乘院

祇」という観法に思いを凝らされた。絶えずすぐれた師に面会して、大乘仏教、小乗仏教の奥深い教えを受け伝えられ、広く仏教諸宗の教えを学んでみられては、その深い道理を究められた——。

顕教とは、言葉によって明らかに説き示された教えの意で、具体的に

べての存在は「空」「仮」という概念をも超えていると知る中諦という三諦(3つの真理)が同時に成り立ち、そのまま一諦(存在の実相)に帰するという教え。瑜伽瑜祇とは、仏さまの身体・言葉・心と、私たちのそれらとを、身に印を結び(身密)、口に真言を誦え(口密)、心に本尊を観ずる(意密)ことによって相応させる三密加持の観法であるという。

今回訪れた大乘院には、

比叡山 大乘院

場所 滋賀県大津市坂本本町4-2-20
電話 077-578-0000(1代)

交通 京都駅でJR湖西線に乗り換え13分、「比叡山坂本」駅下車、同駅前から江若バス・ケーブル坂本線で7分、「ケーブル坂本」駅下車、坂本ケーブルに乗り換え11分、「ケーブル延暦寺」駅下車、徒歩15分。

「親鸞聖人御修行舊跡」と刻まれた石碑が立つ。場所は比叡山の東塔地域に属する無動寺谷。「谷」とは、堂や住坊の集まりを指す。

無動寺谷および大乘院が親鸞聖人ゆかりの地とされるのは、出家の戒師である慈円が比叡山横川の検校(寺務監督者)に補せられた翌年の1182年(寿永1)7月——これは親鸞聖人ご出家の翌年でもある——無動寺谷の検校と大乘院の別当(寺務統括者)を兼務することになったため、横川と同様、慈円の導きで親鸞聖人がこの地でも習学されたという推測がなされるわけである。

無動寺谷といえば、千日回峰行の拠点としても知られるため、親鸞聖人も千日回峰行をされたのではとの推測も生まれる。

しかし、回峰行とおぼしきものが歴史に現れるのは鎌倉時代後期のことだといふ。師である慈円には「江文寺百日参籠」や「無動寺千日入堂」の記事があるが、これらは参籠の行である。現在の千日回峰行の形態が確立されたのは、1571年(元亀2)9月12日の信長による比叡山焼き討ちから数年後のことで、回峰行という名称自体もそれ以降のものなのだとか。

大乘院はもともと43代天台座主・寛慶(1121年補任)の住坊だったが、慈円が別当に任ぜられて小堂を建立。ご本尊は阿弥陀如来。親鸞聖人ご修行時代の面影を伝える「そば喰いの木像」がある。

(本紙編集部)

僧侶研修 これからの寺院のあり方考える 参加者ら自らの姿勢を反省

1月22日、鷺森別院で僧侶・寺族研修会が開催され、教区内から僧侶・寺族47人が参加した。

この研修会は「御同朋の



講義に熱心に聞き入る参加者

社会をめざす運動」和歌山教区委員会の寺院活動推進部が企画・運営を担当。今、教区内寺院が直面している

課題の中で「寺離れの実態」とこれからの寺院のあり方を考える」というテーマを取りあげ、今後の活動を考える糧にしよう」と、2人の講師を迎えた。

講義1では、第一生命経済研究所小谷みどり主席研究員が、現代人の宗教観や、今、僧侶・寺院に何が問われ、求められて

いるのかについて話した。講義2では、浄土真宗本願寺派総合研究所副所長の藤丸智雄さんが、過疎が進み年々門徒が減少する教区の現状を踏まえ、寺院活動をいかに展開していくか、世の中のニーズに即応しな

また、相手が求めている事に、真摯に答えているのだろうか」という自らの基本的姿勢を反省するなど大いに啓発される研修となった。



小谷みどりさん

から浄土真宗の魅力をいかに伝えていくかについて方法を提起。

参加者は「僧侶・寺族として本当に相手に寄り添えているのだろうか。また、寄り添おうとしているのか。



藤丸智雄さん

「ある精肉店のはなし」上映会
74人が参加 和歌山県同宗連
74人が参加

この上映会は、部落差別をはじめ、あらゆる差別の撤廃を目指す同宗連の研修の一環として開催され、高野山真言宗や浄土宗など合わせて9つの宗教団体から

青色青光

鷺森テレホン法話
073-422-0243

こころの電話 (海南組西光寺)
TEL(073) 487-2430
ヤングこころの電話 (同上)
TEL(073) 487-0404
こころの電話 (御坊組専福寺)
TEL(0738) 44-0874

子どもたちと春の遠足 教区仏教青年連盟

教区仏教青年連盟では3月30日、鷺森別院子ども会春の遠足を実施。春らんまんの京都を訪れた。

今年36人の児童が参加。仏教青年連盟会員がスタッフとして同行した。まず本山に参拝。児童らは阿弥陀堂、御影堂の順番でお参りし、唐門や経蔵を見学。

本山の大きな御堂をバックに記念撮影



午後からは京都市立動物園の散策と、和菓子屋の老舗甘春堂で和菓子作りを体験。

園の散策と、和菓子屋の老舗甘春堂で和菓子作りを体験。

車窓から見える桜の花は5分から7分咲きで、京都の街はお花見や行楽を楽しむ人でにぎわい、春休みの思い出に残る旅行となった。

この行事は、仏教活動の周知と充実を目的として、子ども会児童を対象に毎年1度開催されている。



野外劇の見物客で埋まる鷺森別院境内

青色青光

第12回

孫市まつりで 別院にぎわう

3月27日、鷺森別院とそりが盛大に開催された。の周辺を会場に、孫市まつり。今年は、昨年引き続き、

俳優の榎木孝明さん監修・出演による武者行列と野外劇が行われた。戦国期の甲冑を着た武者行列は、和歌



城北通り進む武者行列

日に大坂から紀州鷺森に移られた際、頭如上人を守った雑賀衆を再現したもの。野外劇では、劇を一目見ようと鷺森別院境内が多く

の地で埋めつくされ、雑賀孫市を演じた榎木さんの迫真の演技に思わず引き込まれていた。

今年、和歌山教区仏教壮年会連盟の会員らがキャベツやはっさくなどを露店で販売し、会場の盛り上げに一役買った。

山城一の橋を出発し、和歌山市駅を經由し鷺森別院へと行進した。この行列は、本願寺第11代頭如上人が1580年(天正8)4月10

今年で12回目を迎えたこの催しは、市駅前商店街で組織する「孫市の会」が毎年春開催している。

教区会議員改選

(任期)2016年4月1日
～2020年3月31日

任期満了に伴い各組で教区会議員の選出がなされた。

- ▽和歌山組〈僧〉北畠弘之(宗善寺)、〈門徒〉太田雄造(専念寺)
- ▽和歌山東組〈僧〉吉田隆英(正善寺)、〈門徒〉東岡百合子(蓮光寺)

- ▽和歌山西組〈僧〉廣田芳英(安樂寺)、〈門徒〉八尾進(正善寺)
- ▽和歌山北組〈僧〉山本法道(浄永寺)、〈門徒〉山本勇(慶圓寺)
- ▽加茂組〈僧〉寺本泰宣(教徳寺)、〈門徒〉岩本武雄(遍照寺)
- ▽海南組〈僧〉中岡俊樹(願成寺)、〈門徒〉榮川誠(西光寺)

- ▽海草組〈僧〉岩清水昌子(西方寺)、〈門徒〉樫尾忠男(蓮乗寺)
- ▽伊那組〈僧〉宇多光誠(光明寺)、〈門徒〉谷口庄亮(西照寺)
- ▽有賀組〈僧〉今井信正(大光寺)、〈門徒〉日浦英二(円照寺)
- ▽有田南組〈僧〉妻木尚武(本勝寺)、〈門徒〉籠谷伸一郎(真樂寺)

- ▽有田北組〈僧〉立森秀芳(教念寺)、〈門徒〉萬川繁之(教念寺)
- ▽日高組〈僧〉鈴木悟峰(善宗寺)、〈門徒〉川瀬貞夫(妙願寺)
- ▽御坊組〈僧〉佐々木俊紀(安養寺)、〈門徒〉平井健(圓満寺)
- ▽紀南組〈僧〉北條一穂(妙道寺)、〈門徒〉松下紀昭(覚照寺)



真剣に研修に取り組み参加者が。この集いは、和歌山北組が第2期実践運動の目標として掲げる「連研を開催し、今期に於いて、門徒推進員を養成する」ことを目的として開催され、「神と寺檀制度」のテーマのもと鷺尾衛鳳師(神戸湊組宝珠寺)を講師に迎えて講義と話し合い法座を実施。参加者は、地域に根ざした寺院活動を展開していくうえで課題となる、寺檀制度や氏子制度の歴史と実態を学び、問題点を確認した。

和歌山北組 連研「Eノート」使い 念仏者の集い開く

1月30日に教願寺(和歌山市平井)を会場に「連研教材Eノートを通して学ぶ念仏者の集い」が開催され、僧侶、門徒あわせて36人が参加した。

昨年の鷺森別院二尊会のお勤め



西本願寺での帰敬式
1993年(平成

鷺森別院で5月15日、
本堂再建20周年記念法要を、
恒例の二尊会(5月13日)

16日)と併修してお勤めす
る。午後1時30分から。
鷺森別院では1990年
(平成2)4月に

「顕如上人四百回忌法要・
紀州門徒殉難者総追悼法
要」を勤修したが、そのご
勝縁の記念事業として本堂

5月15日、恒例の二尊会にあわせ勤修

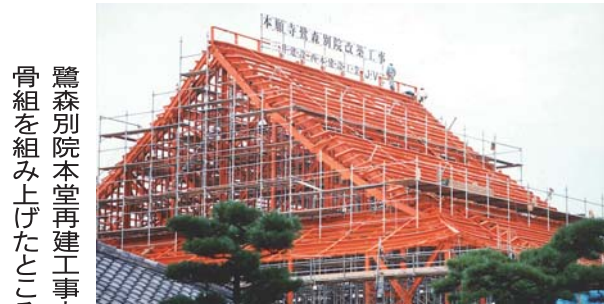
鷺森別院で本堂再建20周年記念法要

5)3月5日に起工式、約
1年7カ月間の工事を経て、
1994年(平成6)10月
4日に現本堂が竣工。付属
建物を含め、総工費9億5

188万1638円におよ
ぶ大事業となった。
竣工翌年の1995年4
月8、9両日には、本堂落
成慶讃法要をお勤め。

午前に帰敬式

この落成法要から20周年
を迎えた昨年は再建記念法
要を勤める年だったが、本
堂など境内建物の修繕が必
要になったことなどの影響
で、このたび記念法要の日
を迎えることとなった。



鷺森別院本堂再建工事中の記録写真。①は鉄骨の
骨組を組み上げたところ、②は瓦ぶき作業の途中
法名を賜る。

専如門主 和歌山ご巡回

鷺森別院と日高別院で記念式典と行事など

鷺森別院ご巡拝予定

12:35	専如門主一行到着 記念撮影、記念植樹
13:30	ご門主を囲み懇談
14:30	記念式典 別院輪番あいさつ ご門主ご焼香 勤行(讃仏偈) 御消息ご親読 御消息拝受 随行長あいさつ 恩徳讃斉唱
15:20	記念布教 佐々木壘師
15:50	記念行事 鷺森幼稚園園児の歌 笑福亭仁智さんの落語
17:00	ご門主一行出発



御消息を親読される専如門主
(新報3190号2015年1月20日号掲載)

4月27日

鷺森別院ご巡拝

鷺森別院のご巡
拝予定は、午後零
時35分に専如門主
ご一行が到着されたあと、
門徒との懇談の場を持たれ

専如門主(38)が和歌山に……。ご門主が4月27日
に鷺森別院、翌28日に日高別院を巡拝され、両別院で
はこれを記念した式典・布教・行事が行われる。
10月1日から西本願寺でスタートする「伝灯奉告法
要」に向けた、全国60カ所におよぶ「全教区ご巡回、
直轄・直属寺院ご巡拝」の一環。間近でご門主のお姿
とお言葉に接する貴重な機会。どうぞご参拝を。

教区内の同世代僧侶・門徒とご懇談

る。テーマは「和歌山教区
の現状と伝道のあり方」。
教区内から任職3人(1人
は紀南の過疎地寺院の任職、

1人は女性任職)、坊守1
人、衆徒(任職以外の僧侶)
2人、鷺森幼稚園の女性教
諭の合わせて7人が出席。
記念式典では、ご門主が
昨年1月16日に発布された
「伝灯奉告法要」についての



記念行事で落語を演じる
笑福亭仁智さん

「落語を親読。
別院輪番が御消
息を拝受する。
息を拝受する。
続けて随行長で
ある宗派総務が
あいさつ。
さらに記念布
教として、特命

同幼稚園女性教諭の6人が
出席する。
日高別院は、和歌山教区
御坊組(27カ寺)で護持す
る別院。その前身である日
高坊舎が現在地に創建され
たのは1595年(文禄4)。
現本堂は1825年(文政
8)3月15日に建立された。
本山から1877年(明
治10)9月8日に別院の称
号を受け、現在に至る。

4月28日

日高別院ご巡拝

日高別院(御坊
市御坊100)に
は、午前9時にご
門主一行が到着予定。
記念行事は、御坊組内門
徒、御坊幼稚園園児、同保

護者によるミニコンサート
を企画。仏教讃歌と童謡数
曲を歌う。そのうち1曲は、
ご門主にも一緒に歌ってい
たく予定。
ご門主との懇談では、御
坊組内の任職1人、衆徒3
人(うち女性1人)、御坊
幼稚園保護者(女性門徒)、



日高別院ご巡拝予定

9:00	専如門主一行到着 記念撮影
10:00	記念式典 別院輪番あいさつ ご門主ご焼香 勤行(讃仏偈) 御消息ご親読 御消息拝受 随行長あいさつ 恩徳讃斉唱
10:40	記念布教 佐々木壘師
11:10	記念行事 御坊組内門徒、御坊幼 稚園園児・保護者の歌
11:45	ご門主を囲み懇談
12:40	ご門主一行出発

今秋からの伝灯奉告法要に向け全国行脚

布教使・佐々木壘師による
約10間の法話がある。
そのあとは、ご門主が臨
席されている記念行事。鷺森
幼稚園園児が歌を、笑福亭
仁智さんが落語を披露する。
笑福亭仁智さんは古典落
語と創作落語に取り組みか
たわら、テレビやラジオで
も活躍。1998年(平成
10)に蓮如上人五百回遠忌
法要にちなんだ創作落語
「蓮如上人」を各地の浄土
真宗寺院で演じたのが縁で、
現在まで「お寺数珠つなぎ
落語会」と称する全国の寺
院での落語会が続いている。
記念行事のあとは、ご門
主からお言葉を頂く。

和歌山組 12/27 47人 鷺森別院



お寺めぐり

子ども・若者ご縁づくり
フォト・ニュース Photo News



「子ども・若者ご縁づくり」とは青少年教化活動のことです。キッズサンガをさらに展開するとともに、特に若者層への働きかけを強めていこうとするものです。
年齢や地域事情などそれぞれのおかれた状況のなかで、老若男女問わず、みんなが一緒に手を合わせお念仏を申すご縁をいただきたいですね。



有田北組
11/7
45人
西光寺

ポツポ道を歩こう

有田南組 9/19 77人 称念寺



実践者
ビャクドー公演

海草組 11/14 45人 積善寺



子ども
報恩講



海南組
12/23
129人
浄国寺

おもちつき



紀南組
3/11
57人
勝徳寺

キャンドル
ナイト

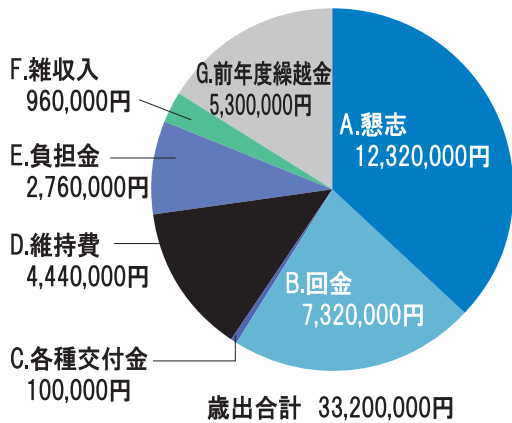
このコーナーでは、各組・寺院で取り組まれているキッズサンガを紹介いたします。ぜひ写真・資料を和歌山教区教務所宛にご送付ください。
なお、紙面の都合上掲載できないこともございます。あらかじめご了承ください。



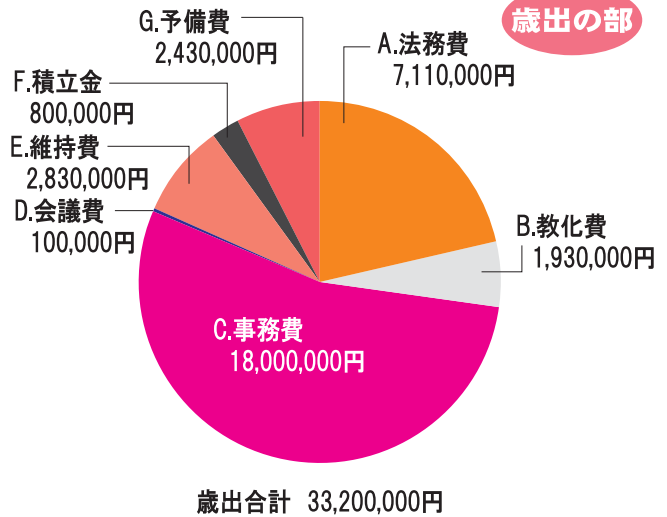
2016年度本願寺鷲森別院一般会計歳計予算

(2016年4月1日～2017年3月31日)

歳入の部



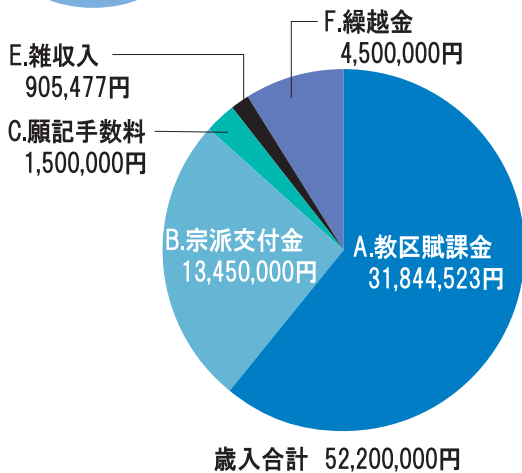
歳出の部



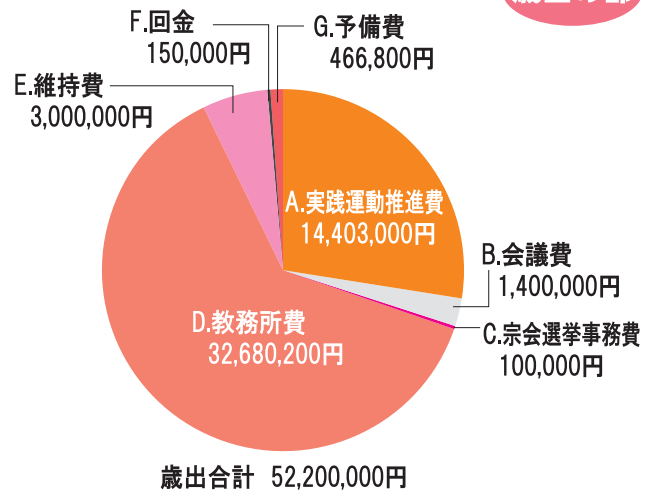
2016年度和歌山教区一般会計歳計予算

(2016年4月1日～2017年3月31日)

歳入の部



歳出の部



響流十方

4〜6月の催し

本山

4月13〜15日 へ春の法要

4月17〜18日 大谷本廟総追悼法要

5月15日 夏御文章御開軸式

5月19日 誕生会(日野誕生院宗祖降誕会)

5月20〜21日 宗祖降誕会

6月5〜8日 大谷本廟納骨・永代経法要

6月10日 住職補任式

6月13日 御門主ご誕生日

和歌山教区

4月1日 本願寺派仏教章修得のための研修会③(鷺森別院)

- 4月4日 近同推各部会、常任委員会(京都)
- 4月6日 組長会(鷺森別院)
- 4月7日 第11回紫水会(橋本)
- 4月8日 本願寺派仏教章修得のための研修会④(鷺森別院)
- 4月12日 第25代専如門主和歌山教区ご巡回・本願寺鷺森別院ご巡拝実行委員会行事部会(鷺森別院)
- 4月13日 布教団連続法座(鷺森別院)
- 4月14日 臨時教区会(鷺森別院)
- 4月15日 本願寺派仏教章修得のための研修会⑤(鷺森別院)
- 4月22日 本願寺派仏教章修得のための研修会⑥(鷺森別院)
- 4月27日 第25代専如門主

- 和歌山教区ご巡回・本願寺鷺森別院ご巡拝(鷺森別院)
- 4月28日 第25代専如門主本願寺日高別院ご巡拝(日高別院)
- 5月6日 本願寺派仏教章修得のための研修会⑦(鷺森別院)
- 5月11日 仏教婦人会連盟清掃奉仕(鷺森別院)
- 5月13日 寺族女性会集い(鷺森別院)
- 5月14日 仏教壮年会集い(鷺森別院)
- 5月16日 仏教婦人会集い(鷺森別院)
- 6月15日 布教団連続法座(鷺森別院)
- 6月17日 近同推総会(未定)

教区内各組

和歌山組

- 4月5日 仏教婦人会コーラス練習(念誓寺)
- 4月8日 総代会・仏壮総会(鷺森別院)
- 4月11日 仏教婦人会コーラス練習(念誓寺)

和歌山西組

- 4月3日 組内会(覺圓寺)
- 4月8日 寺族婦人会例会(正善寺)
- 5月8日 第16期連続研修会⑦(覺圓寺)

和歌山東組

- 6月未定 組内会(鷺森別院)

和歌山北組

- 4月17日 第1回組内会(未定)
- 5月8日 第2回組内会(未定)
- 5月未定 仏教婦人会連盟総会・研修会(未定)
- 5月29日 第1回連研推進委員会(未定)
- 6月未定 門徒総代会総会・研修会(慶圓寺)

加茂組

- 5月未定 加茂組総代会(浄満寺)
- 6月19日 寺族婦人会研修会(眞興寺)

海南組

- 4月3日 仏教婦人会連盟総会・研修会(西専寺)
- 4月9日 「御同朋の社会をめざす運動」海南組委員

海草組

- 6月未定 仏教婦人会連盟総会・研修会(安養寺)
- 6月未定 門徒総代会総会(報徳寺)
- 6月未定 門徒総代会・仏教婦人会連盟・仏教壮年会連盟・寺族女性会合同研修会(報徳寺)
- 5月9日 仏教婦人会連盟総会・研修会(円照寺)
- 5月下旬 門徒総代会役員会(かつらぎ町・極楽寺)
- 5月下旬 組内役員会(かつらぎ町・極楽寺)
- 6月下旬 門徒総代会総会(かつらぎ町・極楽寺)
- 6月未定 組内会(かつらぎ町・極楽寺)
- 6月未定 寺族女性会総会(未定)

伊那組

有賀組

4月10日 仏教婦人会連盟
総会・研修会(照円寺)
5月8日 仏教壮年会連盟
総会・研修会(西方寺)
6月4日 組会(専念寺)

4月10日 門徒総代会総会
(蓮尊寺)

得度

4月29日 仏教婦人会連盟
総会・追悼法要(浄明寺)
6月4日 第9期連続研修
会⑨(即生寺)

有田南組

4月21日 仏教婦人会連盟
総会(福蔵寺)
5月未定 組会(称念寺)

御坊組

5月未定 仏教婦人会連盟
総会・研修会(日高別院)
6月未定 仏教壮年会連盟
総会・研修会(日高別院)
6月未定 門徒総代会総会
・研修会(日高別院)

有田北組

5月7日 組会(西光寺)
5月24日 仏教婦人会連盟
一日研修旅行(八幡別院)
5月28日 仏教壮年会連盟
総会・研修会(浄満寺)

紀南組

4月17日 婦人会総会(善
照寺)
5月未定 総代会総会(未
定)
5月未定 寺族婦人会総会
(未定)

教師

3月
北本一樹(和歌山北組浄源
寺)

組長改選

(任期)2016年4月1日
~2020年3月31日

和歌山組 玉置證(養尊寺)
和歌山東組 木村俊隆(善
正寺)
和歌山西組 加藤典彦(万

福寺)
和歌山北組 北條法聖(慶
圓寺)
加茂組 藤田隆(浄満寺)
海南組 松本教智(賢寺)
海草組 長谷川義昭(報徳
寺)
伊那組 藤本惠英(極楽寺)

有賀組 藤岡史朗(専念寺)
有田南組 生田俊示(称念
寺)
有田北組 佐々木信彦(教
念寺)
日高組 藤本使朗(即生寺)
御坊組 湯川逸紀(三玉寺)
紀南組 眞田陵(浄行寺)

日高別院の催し

■常例法座
4月20日、午後1時30分
から正信念仏偈をお勤め、
引き続き境山慈仁師(檀原
市見瀬町・福栄寺)の法話
を聴聞する。

■第25代専如門主本願寺
日高別院ご巡拝
4月28日、第25代専如門

鷺森別院の催し

■第25代専如門主和歌山
教区ご巡回・本願寺鷺森別
院ご巡拝
4月27日に、第25代専如
(大谷光淳)門主が鷺森別
院を巡拝。午後2時30分か
ら記念式典が行われ、ご消
息を親読。3時50分からの
記念行事では、鷺森幼稚園
年長児による歌が披露され、
引き続き、笑福亭仁智さん
の真宗落語を聞く。

二尊会

5月13日から16日の4日
間、恒例の二尊会を鷺森別
院で勤修する。午後1時30
分からお勤め、2時15分ご

主が日高別院ご巡拝。午前
10時から記念式典、11時10
分から御坊幼稚園園児・卒
園者・保護者によるミニコ
ンサートが開催される。

総永代経

6月20日、午後1時30分
から阿弥陀経をお勤め、そ
の後、多田大順師(檀原市
今井町・順明寺)の法話を
聴聞する。

5月8日、午後1時から
僧侶と園児らがいはいの
うたをお勤め。その後、卒
園児がマーチングドリル

ろから、藤井邦麿師(大分
県速見郡日出町・正善寺)
の法話を聴聞する。なお、
この期間中は午前各教化
団体の集いが開催される。
13日は寺族女性会、14日は
仏教壮年会、16日は仏教婦
人会。

総永代経

6月12日、午後1時30分
から本堂で阿弥陀経をお勤
め。引き続き法話を聴聞。

常例法座

4月15、16日、富岡隆弘
師(兵庫県たつの市揖保川
町・即応寺)。6月、15、
16日、安方慶哉師(貝塚市
麻生中・正満寺)。毎座、
午後1時30分から3時30分

宗祖降誕会

5月20日、宗祖親鸞聖人
のお誕生をお祝いする降誕

1422-4677)

つれもて 聴こら

私たちが称えさせていた
「南無阿弥陀仏」とい
うお念仏には、阿弥陀さま
のお慈悲の心が込められて
います。「あなたを必ず救
い取り仏と成らせます」と
いう願いの通りに阿弥陀さ
まがこの私たちに満ち満ち
てください、この命が終わ
るとき、必ず阿弥陀さまが
建立されたお浄土に往生さ
せ、おさとの身へと任上
ることを第一として大悲
の誓願を成就されたこと、
阿弥陀さまから回向される
お念仏によって、私たちに
仏さまへの道が開かれてい
ることを喜ばれたのです。
私たちは南無阿弥陀仏の

今、はたらいてくださって
いることの現れなのです。
親鸞聖人がこの阿弥陀さ
まのお慈悲について詠まれ
たご和讃が、
「如来の作願をたづぬれば
苦悩の有情を捨てずして
回向を首としたまひて
大悲心をば成就せり」
(『註釈成聖曲』606頁)

戸川 教宏

まがこの私たちに満ち満ち
てください、この命が終わ
るとき、必ず阿弥陀さまが
建立されたお浄土に往生さ
せ、おさとの身へと任上
ることを第一として大悲
の誓願を成就されたこと、
阿弥陀さまから回向される
お念仏によって、私たちに
仏さまへの道が開かれてい
ることを喜ばれたのです。
私たちは南無阿弥陀仏の

親鸞聖人は、阿弥陀さま
の誓願のいわれを尋ねられ、
阿弥陀さまが、迷い、苦悩

回向を第一とする仏さま

びてくださるのです。

私たちがお念仏する姿は、
阿弥陀さまが私に、まさに

する私たちを見捨てること
なく、ご自身が積まれた修
行の功徳を私たちに振り向

お念仏を一つの道具として
捉えてしまいがちです。私
が称えているお念仏にどの

お念仏のいわれを聴いてい
なのです。
ですから、私たちはその



けることを第一として大悲
の誓願を成就されたこと、
阿弥陀さまから回向される
お念仏によって、私たちに
仏さまへの道が開かれてい
ることを喜ばれたのです。
私たちは南無阿弥陀仏の
救おう」と願われ、南無阿
弥陀さまが「あなたを必ず
救おう」と願われ、南無阿
弥陀さまも救い取ることが
できまわりました。しかし、
どの仏さまも救い取ること
ができまわりました。
それは、仏さまが何と
かして私を救おうと、これ
をしてください、これはし
ないでください、これを
守ってください、とおっ
しゃられた事を、私はその
通りにすることができな
かったからです。私には、
それをする能力がないので
す。仏さまからすれば、救
いたいと願っても救い取る
ことができないのです。
そのような私を見抜いて
くださった仏さまが阿弥陀
さまです。阿弥陀さまが法
蔵菩薩というご修行中の身
であったときに、「あなた
の能力がどうであろうとも
必ず救う仏に成る」とお誓
いくださったのです。それ
はすべて法蔵菩薩さまご自
身が成就し完成してくだ

くことが大切なのです。
私たちは人生のなかで悪
をつくり続けています。か
つてさまさまな仏さまが、
そんな私たちをおさとの
世界へと救い取ろうとして
くださいました。しかし、
どの仏さまも救い取ること
ができまわりました。
それは、仏さまが何と
かして私を救おうと、これ
をしてください、これはし
ないでください、これを
守ってください、とおっ
しゃられた事を、私はその
通りにすることができな
かったからです。私には、
それをする能力がないので
す。仏さまからすれば、救
いたいと願っても救い取る
ことができないのです。
そのような私を見抜いて
くださった仏さまが阿弥陀
さまです。阿弥陀さまが法
蔵菩薩というご修行中の身
であったときに、「あなた
の能力がどうであろうとも
必ず救う仏に成る」とお誓
いくださったのです。それ
はすべて法蔵菩薩さまご自
身が成就し完成してくだ

さったお救いなのです。
他の仏さまが決して救う
ことのできなかつたすべて
の者たちを、阿弥陀さまは
必ず救い取ろうと、私たち
の知識や経験、能力に左右
されることなく、私たちが
仏となるすべての善行功徳
を阿弥陀さまが成就してく
ださり、南無阿弥陀仏のお
念仏に込めてくださったの
です。
そのお心が「回向を首と
したまひて」という部分に
示されています。私が阿弥
陀さまに救われる対象とし
て、ふさわしい身に変わる
のではなく、阿弥陀さまの
方が私を救い取ることので
きる仏さまと成ってください
り、たった今、南無阿弥陀
仏のお念仏となつてはたら
いてくださっているのです。
親鸞聖人が阿弥陀さまの
お慈悲を喜び、回向という
ことを頭かになつてくださ
ったご和讃を、一緒に喜
ばせていただきますよ。
(枚方市長尾元町・勝圓
寺) 2月15日の鷲森別院
常例法座の法話から)